

## シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE34013	
科目名	生理機能検査学実習	
科目名 (英語)	Practice of Clinical Physiology	
授業形態	実習	
標準履修年次	2年	
実施学期・曜時限等	秋学期 A B C・木曜日・3～5時限	
使用教室	共同利用棟B・機能実習室1	
単位数	2単位	
担当教員名	小池 朗・新井恵美	
備考	実務経験教員：小池 朗、新井恵美	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡をしてから訪問すること。 小池 研究室：4B404 電話：3435 Eメール：koike@md.tsukuba.ac.jp	
学位プログラム・コンピテンス との関係	汎用	
	医療	3. 臨床検査の知識と実践力
	国際	3. 臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生理機能検査学で学んだ各種の臨床検査について、その方法・意義についての理解を深める。</li> <li>2. 各種の生理機能検査について、機器の準備と測定が可能になる。</li> <li>3. 検査データの記録と解析が可能になる。</li> <li>4. 検査から得られた結果の評価法を理解し、更には疾病診断へのプロセスについての理解を深める。</li> </ol>	
他の授業科目との関連	生理機能検査学	
履修条件	なし	
授業概要	受講生自ら各種の臨床生理機能検査の検者・被験者になることで、その測定方法の実際を習得し、測定データの解析と疾病診断へのプロセスも学ぶ。	
キーワード	生理機能、検査	
授業計画	生理機能検査の実務経験を有する教員がその経験を生かして、以下の各種生理機能検査の実習を小グループ毎のローテーションで実施する。	

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 循環機能検査 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 標準 12 誘導心電図検査</li> <li>2) 運動負荷心電図検査</li> <li>3) 心音図・心機図検査</li> <li>4) 脈波伝播速度・足関節上腕血圧比</li> </ol> </li> <li>2. 呼吸機能検査 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 呼吸機能検査</li> <li>2) 代謝機能検査</li> <li>3) 心肺運動負荷検査</li> </ol> </li> <li>3. 神経機能検査 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 脳波検査</li> <li>2) 聴覚脳幹誘発反応検査</li> </ol> </li> <li>4. 画像検査 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心臓超音波検査 (Bモード・Mモード)</li> <li>2) 腹部超音波検査</li> </ol> </li> <li>5. 感覚機能検査 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 聴覚機能検査</li> <li>2) 電気味覚検査</li> </ol> </li> </ol>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>実習 (100%)  生理機能検査学実習書を用いて必ず予習をすること。  各検査の実習終了後に、レポート提出が課せられる。</p>
単位取得要件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2/3以上の出席、および、</li> <li>2) 実習で課されたレポート提出と各レポートのC以上の評定。</li> </ol>
成績評価方法	出席、実習態度およびレポートによって評価する。
教材・参考文献・配付資料等	<p>教材：臨床検査学講座「生理機能検査学」医歯薬出版  配付資料：生理機能検査学実習書</p>
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受講生各自で身体諸機能検査を行うので、事故のないように留意すること。</li> <li>・ 被験者となった学生の個人情報の守秘を厳守すること。</li> <li>・ 実習機器は高価なので、破損しないように細心の注意を払うこと。</li> </ul>